



2023 AUTOBACS SUPER GT Round5 SUZUKA GT 450km RACE

予選 21位 / 決勝 リタイア



鈴鹿450Km リタイア

ここ数戦はサクセスウェイトが増え、厳しい状況でしたがチームの総合力で結果を出してきました。

鈴鹿大会は酷暑下の450Kmレースでピット義務は2回。粘り強く挑みましたが残念ながらリタイアとなりました。

● 8/26(土)

練習走行ではアンダーステア気味で、タイムが上がらず、試行錯誤するもライバルとの差は解消せず。何とかQ1は突破したいと、予選に挑みます。予選のグループ分けはA、Q1は吉田選手が担当。酷暑を考慮して例年より遅い時間で予選開始。路面温度は52℃と高温。渾身のアタックもタイムは伸びず、グループ11位。予選はここで終了。Q2には進めませんでした。

決勝は、後方21位からのスタートです。戦略の選択は限られるも、前回の富士もこの位置から巻き返しており、チーム力で決勝に挑みます。

● 8/27(日)決勝

前夜の豪雨は朝には上がり、気温は35度まで上昇。路面温度は50℃、湿度は70%。厳しい暑さです。

決勝はスタートドライバーを担当。6周目で最初のピットイン、給油のみでコースに復帰。11周目に#6のタイヤが外れFCY。これはすぐに解除になりました。周回を重ねる中、序盤の数周でリア回りに違和感が生じペースは上げられず苦戦。他車のピット作業が始まる中、タイヤを労わりながら走行していきます。しかしながら、レースの1/3を超えた28周目高速の130Rに入った瞬間に車の右リアの足回りが破損、白煙が上がりました。暴れるマシンをなんとか立て直し、ピット入口にも近かったのですがすぐに緊急ピットイン。無傷でピットに戻すことができましたが右リアのサスペンションが折れていました。部品の交換をしてコースに復帰することも検討しましたがレースへの影響やマシンダメージの可能性もあることからチームとしてリタイアを決断。レース終了です。

速さが足りずライバルとはペースが異なる状態でしたが、チャンピオンシップに向けて、少しでもポイントを取りたい大会でした。次戦までにしっかり修正し強くレースをしたいと思います。

次戦の菅生は9/16-17です。引き続き、応援のほどよろしくお願いいたします。